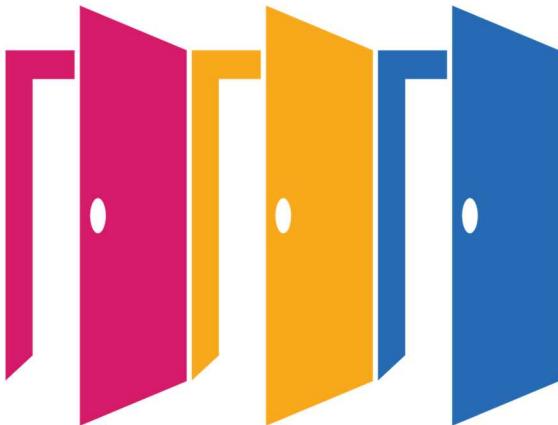




第 2790 地区

印西ロータリークラブ 週報

第 2537 号



ロータリーは機会の扉を開く

創 立 昭和 42 年 3 月 11 日
承 認 昭和 42 年 4 月 26 日
例 会 日 第 1.2.3 水曜日 12:30 ~ 13:30
第 5 水曜日 18:30 ~ 19:30
会 場 柏 屋 0476(42)2043
事 務 所 〒270-1327
千葉県印西市大森 4450-47
TEL 080-1192-0281
FAX 0476(42)3101
会 長 堀 江 恭 一
幹 事 稲 葉 健
クラブ会報リーダー 星 野 宏 明
HP  <https://inzairc.com/>
FB  <https://facebook.com>

第 2577 回 例会 2020 年 8 月 19 日 (水)
於 : ZOOM 点 鐘 : 12 : 30

- ・ 点 鐘 堀江 恭一 会長
- ・ 開会宣言 玉木 実 会員
- ・ ソング 奉仕の理想
- ・ お客様 ロータリー財団元国際親善奨学生
田中 秀司 様
- ・ ニコニコ 稲葉 健 会員



母の新盆の際に印西ロータリークラブより新盆見舞いを頂きました。ありがとうございます。今後ともよろしくお願ひします。葬儀から新盆までの一連の流れを滞りなく終える事ができましたので、ニコニコとさせていただきます。



◇会長挨拶

堀江 恭一 会長



皆さん、こんにちは。

新型コロナウイルス感染症と熱中症とは発熱や全身的だるさなどの症状がよく似ていて救急車が到着しても対応に苦慮するということです。また、この夏コロナ感染症よりもはるかに多くの方が熱中症でお亡くなりになっているのをご存知でしょうか。いずれにせよ共に十分にご注意ください。

さて今日は国際親善奨学生だった田中秀司さんが参加されています。2014年11月に帰国報告をしてもらいましたが、今日は後程その後の活躍について卓話をお願いしています。

田中さんよろしくお願ひ致します。

ロータリー財団のプログラムとして返還不要の奨学金で学生が海外の大学に留学できるのはご存知だと思います。ただ貰えるだけではなく、やはりそこは国際理解と世界平和を促進するために留学先で親善使節としての役割を担うというのが条件になっています。

田中さんの時の手順をお話しすると、

- | | |
|-----------------|---------------------------------|
| 2010. 12 | 2790 地区のホームページに募集要項発表、募集 5 名。 |
| 2011. 2. 20 | 応募説明会。 |
| 2011. 3. 31 | クラブ応募締め切り、クラブ内での審査、1 クラブ 1 名のみ。 |
| 2011. 4. 8 | 地区応募締め切り、クラブによる推薦が必須。 |
| 2011. 5. 8 | 奨学生選考会。 |
| 2011. 6. 5 | 合格者説明会。 |
| 2011. 7～2012. 6 | オリエンテーション 3 回。 |
| 2012. 8 | 留学先へ出発、留学期間 1 年(約 9 か月)。 |

志望校は考慮されるが、留学先は TRF(ロータリー財団)が決めるため変わることもある。

応募は多岐にわたる資料提出を要し、オリエンテーションでは毎回留学国の言語でのスピーチを求められる等、結構ハードなプログラムをこなさなくてはなりません。また、欠席すると失格する場合があるというものでした。

現在の手順はほぼ変わりませんが、地区補助金奨学生(上限 20,000US\$)とグローバル補助金奨学生(40,000US\$)というように推薦クラブが申請するロータリー財団補助金事業であり以前のような地区ロータリー財団委員会の事業ではなくなっています。

◇幹事報告

稲葉 健 幹事

※個別以外は HP の連絡事項に書類をアップしているのご確認ください。

配 布	・週報	・8月5日(水)																												
変 更	・成田 RC ・成田 CPRC	<table border="1"> <tr> <td>8月 7日(金)</td> <td>通常例会 (Zoom 併用例会) 特別月間卓話 担当：会員増強・維持拡大委員会 第2回理事役員会</td> </tr> <tr> <td>14日(金)</td> <td>休会 対象：お盆</td> </tr> <tr> <td>21日(金)</td> <td>通常例会 グループディスカッション 担当：戦略計画委員会</td> </tr> <tr> <td>28日(金)</td> <td>通常例会 研修会 担当：クラブ研修委員会</td> </tr> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>開催日</th> <th>主 な 内 容</th> <th>会 場 ・ 時 間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>8 / 5 (水)</td> <td>休会 (新型コロナウイルス感 染拡大防止のため)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>8 / 12 (水)</td> <td>休会 (お盆)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>8 / 19 (水) (第1289 回)</td> <td>「働き方改革の現状について」 講師：社会保険労務士 山本雅一様</td> <td>通常例会 ホテル日航成田 12時30分 点鐘</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>8 / 26 (水) (第1290 回)</td> <td>「新型コロナウイルスの取組み について」 講師： 成田市健康こども部健康増進課 八木野健太様</td> <td>通常例会 ホテル日航成田 12時30分 点鐘</td> </tr> </tbody> </table> <p>※19日の千葉ロッテマリーンズ応援観戦例会は、別途ご連絡のとおり中止とし、通常例会に変更しております。 ※26日の例会内容は、「新型コロナウイルスの取組みについて」に変更しております。</p>	8月 7日(金)	通常例会 (Zoom 併用例会) 特別月間卓話 担当：会員増強・維持拡大委員会 第2回理事役員会	14日(金)	休会 対象：お盆	21日(金)	通常例会 グループディスカッション 担当：戦略計画委員会	28日(金)	通常例会 研修会 担当：クラブ研修委員会		開催日	主 な 内 容	会 場 ・ 時 間	1	8 / 5 (水)	休会 (新型コロナウイルス感 染拡大防止のため)		2	8 / 12 (水)	休会 (お盆)		3	8 / 19 (水) (第1289 回)	「働き方改革の現状について」 講師：社会保険労務士 山本雅一様	通常例会 ホテル日航成田 12時30分 点鐘	4	8 / 26 (水) (第1290 回)	「新型コロナウイルスの取組み について」 講師： 成田市健康こども部健康増進課 八木野健太様	通常例会 ホテル日航成田 12時30分 点鐘
8月 7日(金)	通常例会 (Zoom 併用例会) 特別月間卓話 担当：会員増強・維持拡大委員会 第2回理事役員会																													
14日(金)	休会 対象：お盆																													
21日(金)	通常例会 グループディスカッション 担当：戦略計画委員会																													
28日(金)	通常例会 研修会 担当：クラブ研修委員会																													
	開催日	主 な 内 容	会 場 ・ 時 間																											
1	8 / 5 (水)	休会 (新型コロナウイルス感 染拡大防止のため)																												
2	8 / 12 (水)	休会 (お盆)																												
3	8 / 19 (水) (第1289 回)	「働き方改革の現状について」 講師：社会保険労務士 山本雅一様	通常例会 ホテル日航成田 12時30分 点鐘																											
4	8 / 26 (水) (第1290 回)	「新型コロナウイルスの取組み について」 講師： 成田市健康こども部健康増進課 八木野健太様	通常例会 ホテル日航成田 12時30分 点鐘																											
回覧	・G事務所	<ul style="list-style-type: none"> ・My rotary 不具合について ・令和2年7月の豪雨の支援報告 ・GE事務所開設のご案内 ・市民活動支援センター メルマガ49号 																												
郵便 FAX メール 等	・G事務所	<ul style="list-style-type: none"> ・ハイライト米山245 →武藤委員長(転送、HP) ・コーディネーターニュース9月号 →堀江会長、稲葉幹事 ・確定申告用領収書 →仲田リーダー(郵送) ・ロータリーの基礎知識 →会長、幹事(郵送) 																												
連絡	・8月Rレート ・9月の最終例会	<ul style="list-style-type: none"> ・1ドル=105円 ・外で行うことを企画しております。 																												



◇委員会報告

○出席奨励 玉木 実 リーダー

	総数	出席	欠席	M/U	出席率
8月19日	14	7	7(免2)	0	58%



◇本日の卓話者 ご紹介

会長 堀江 恭一

田中秀司さんをご紹介いたします。

田中さんは2012～2013年に印西ロータリークラブの推薦でアメリカ・カリフォルニア大学アーバイン校に留学したロータリー財団元国際親善奨学生です。

木刈中、東葛高校そして早稲田大学に進学された秀才であり、中学の時にはバスケットボールで県大会に優勝して関東大会に出場し、高校の時はバスケットボール部のキャプテンという文武両道の32歳です。

早稲田大学では電気・情報生命工学科で当時ニュースなどでも話題になっていた粘菌コンピューターの研究にも携わっていたという話をお聞きしています。

留学先ではホストカウンセラーにも大変親切にしてもらい、大学生活のみならず旅行もインターンシップでも充実していたようです。

現在は、リクルートホールディングスに就職し、東京・品川区にお住まいです。また、地区学友会でも前年度まで3年間幹事として活躍されていました。

◇卓話 「カリフォルニアのロータリーとのふれあい」

田中 秀司 様

カリフォルニアから帰国後の思い出の1枚



- ・1988年生まれ、田中秀司
 - ・木刈小→木刈中→東葛飾高→早稲田大学
 - ・2012-2014年 カリフォルニアに2年間留学
 - ・2016～現在 リクルート勤務
- ※2017-2020年 2790地区学友会幹事

①、カリフォルニアの留学生活は異文化を体感した



授業以外でクラスメートと文化の違いを学べる。

クラスメートは

中国、台湾、トルコ、サウジアラビア、クウェート、チリ、ブラジル、フランス、スペイン、イタリア人



授業以外の課外活動から学んだことがたくさん。

何よりも世界中に友達ができることが一番の思い出。

「留学4か月後の報告から」

アメリカに留学をして約4ヶ月、生活には慣れてきたものの未だに自分の英語力不足を痛感する毎日です。今までは「英語を」学んでいましたが、今は「英語で」学ぶようになりました。日常生活ではクラスメートと楽しく過ごしていますが、グループワークになると「文化の衝突」が起こります。ブラジル、スペイン人は約束の時間を守らず、割り振った仕事を何もしないことがよくあります。「これが多様性か・・・」と驚かされます。

また、異文化の人たちと触れることによって日本文化を知ることができます。日本では当たり前のように行っていた「人の話を聞く」「チーム全体のことを考えて行動する」「責任感を持って仕事をこなす」が日本人の強みだと実感しました。また、日本人の弱みも見えてきます。「自分の意見を持っていない」「自分の意見を伝える能力がない」「リーダーシップがない」という弱みが見えてきます。

日本から出ることによって日本の良い所・悪い所を客観的に見るができるようになりました。そして、「自分は日本人だな」とアメリカに来て強く実感するようになりました。クラスメートの車が「トヨタ」「ホンダ」だと嬉しくなるし、「ソニー」「パナソニック」の商品が「サムスン」に変わっていくのを見ると「頑張れ!」という気持ちになります。

②、現地のロータリーとの関わりは家族のような関わりだった

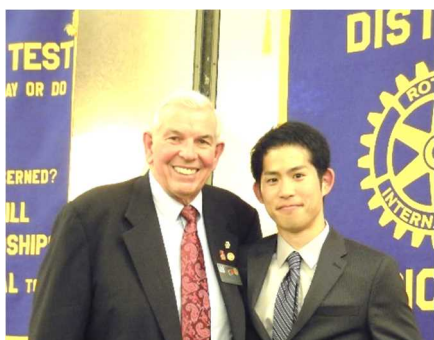


カリフォルニア内のロータリークラブを訪問して8ヶ月で15回のスピーチをしました。



最初は緊張で胸がバクバクでした。毎月のようにスピーチがあったので、とても英語力を鍛えることができました。

スピーチが近くなると準備に大量の時間を使って、スピーチが終わると力尽きるような生活をしていました。英語の発音やリズムが日本語訛りで伝わりづらい時があるらしいですが、「伝えるぞ!」という目的意識を持ってスピーチをすると、自分の伝えたいメッセージを伝えることができます。スピーチや会話を通して、「英語の表現力」よりも「英語の内容」と「メッセージを伝えたい」という気持ちの方が重要だということに気づきました。毎月迫ってくる英語のスピーチが日常生活に良い緊張感を与えてくれます。



父親的存在の Bill。



Bill はスピーチのセッティングだけでなく、家族ぐるみで食事やイベントに誘ってくれました。



ロータリーを通じて留学では経験できない、課外活動や人との出会いがありました。

留学をする前は、日本に対して誇りや自信をあまり持っていませんでした。日本にいと日本に関する否定的な意見をよくテレビで耳にするので、自分の国にネガティブな印象を持っていました。しかし、アメリカに留学して日本の外から日本を見ることによって、日本を客観的に評価できるようになりました。日本にいる時は気づけなかった日本の良いところが見えるようになりました。日本の良い所、悪い所が客観的に見えるようになった今は、自分が日本人であることを誇りに思い、日本人であることに自信を持てるようになりました。日本から出ることによって、日本について異なった視点から日本を知ることができました。

留学する前は、アメリカはアングロサクソン系の人がたくさんいるイメージを持っていました。しかし、実際に留学先に来てみると住民の50%以上がアジア系アメリカ人で、多様な文化を持った人たちが住んでいました。1つの国に様々な文化が共存しているのを初めて知り、自分の思っていたアメリカと全く異なっていました。多種多様な人が混ざり合って共存しているのがアメリカという国であることを知りました。今までは一つの国には一つの文化だけが存在すると自分の中で思い込んでいましたが、アメリカは多種多様な文化が共存する一つの国であることを知りました。

自分の人生を変えるような特別な経験は、日系3世の方とロータリークラブで出会い、とても親切に対応していただいたことです。彼らの両親が第二次世界大戦の時にどのような経験をしたのか、日本についてどのように感じているかなどをたくさん教えて頂きました。日本について大変興味を持っており、自分たちの先祖が日本人であることを誇りに思っていると言っていました。日系の方が日本に対してこのような印象を持っていることを予想していませんでした。日本について考えさせられる経験でした。

③、留学前にしておいたほうが良かった事前準備は

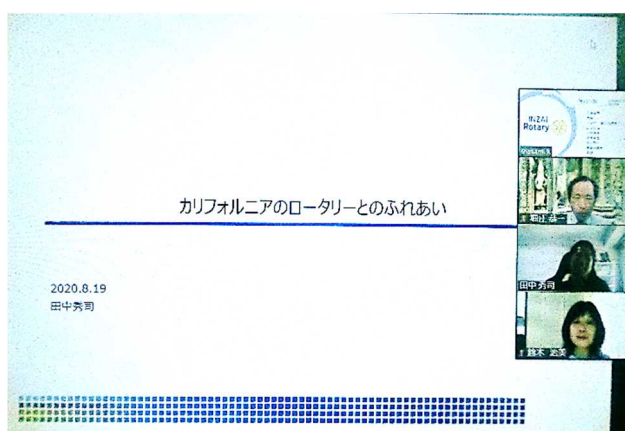
日本について外国の人に話せるようにすること

留学前は日本に対して自信を持っていませんでしたが、アメリカに来て異なる価値観と出会い、自分が日本人であることに誇りと感謝の気持ちを持つことができるようになりました。日本にいる時は、マイナスの情報ばかり耳にするので日本に対して誇りを持っていませんでした。特に、自分が生まれた1988年以降はバブルがはじけた後だったので、日本全体が沈み続けているイメージを持っていました。ニュースを見ると韓国、中国、ロシアとの領土問題があり、学校で習った歴史では、過去の戦争で日本が悪いことをしたということを習って来ました。

しかし、実際にアメリカに来ると日本がどれだけ世界から愛されているのかを実感しました。日本が作った商品で言えば、たくさんの日本車が道を走っています。トヨタ、ホンダ、日産がこんなにも世界中に浸透していることを知りませんでした。また、ビジネスのクラスでトヨタ、ホンダ、ソニーのケーススタディがよく出てきます。ソニーで働いたことのある大学の教授は「ソニーで働いていたあの時は最高に楽しかった」と心からソニーを愛している人もいました。また、日本人の性格は世界中の人から好かれやすい性格です。礼儀正しく、人の話を聞く、時間・約束を守る、チームワークが得意と思われているようです。留学生を家に泊めるホストファミリーの中には、日本人のことが大好きな人が多いです。

また、日本にいる時は台湾について詳しく知りませんでしたが、台湾人はとても親日な人が多いです。アメリカで出会ったほとんどの台湾人がとても優しく、自分に対して好意を持って接してくれました。また、日本人より日本に詳しい台湾人にも会いました。台湾について興味が湧いたので、数冊の本を買って日本の歴史を勉強しなおしました。

歴史を勉強することによって、今まで自分が思っていた日本とは違う新しい物の見方で日本を見ることができるようになりました。そして、今は自分が日本人であることを誇りに思うようになり、自分が日本に生まれたことに対して感謝の気持ちを持つことができるようになりました。実際に、世界中の人と出会うこと、歴史を学ぶことによって日本について新しい物の見方を得ることができました。



◇点鐘 印西 RC 会長 堀江 恭一